

### 第3回航空気象研究会の開催のお知らせ

第3回航空気象研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。なお、講演要旨については気象学会の航空気象研究連絡会のホームページに掲載しています。

日時：2009年2月20日（金）13時30分～18時00分

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

（「天気」55巻7号616頁でご案内しました開催予定場所は、気象庁講堂に変更されたのでご注意ください。）

発表題目（発表順）：

1. 民間航空機を利用した大気中温室効果ガスの高頻度観測  
町田敏暢（国立環境研究所），  
松枝秀和，澤 庸介（気象研究所），  
阿部泰典（日本航空），近藤直人（ジャムコ），  
酒井道久（日航財団）
2. 中層雲底で発生する乱気流  
工藤 淳（気象庁予報部）
3. 濃尾平野における下層乱気流発生時の3次元非静力学モデル事例解析  
島山知雪（防衛省航空気象群）
4. 富山空港におけるおろし風とウィンドシアアについて  
伊藤 肇，荻島秀治（東京航空地方気象台）
5. 東京国際空港及び成田国際空港に設置された空港気象ドップラーライダーの測風性能特性  
山本健太郎（気象庁観測部）
6. 成田空港のLIDARで観測した2008年9月26日の南西強風時のシアライン  
三崎 保（成田航空地方気象台）
7. 地上気温と気象衛星を用いた北日本の夜間における下層雲の雲底高度推定  
浮邊繁喜，遠峰菊郎，奥田智洋，高橋 靖  
（防衛大学校地球海洋学科）
8. 霧発生中における急激な視程変動メカニズム  
奥田智洋，遠峰菊郎，菅原広史  
（防衛大学校地球海洋学科）
9. なぜ今NextGen・SESARなのか  
泉 耕二，及川博史  
（宇宙航空研究開発機構（JAXA））
10. 次世代航空交通システムにおける航空気象の動向  
濱田 渉（航空保安研究センター）

主催：日本気象学会航空気象研究連絡会

問い合わせ先：古川武彦（takefuru@eos.ocn.ne.jp），

田畑 明（ak.tabata@met.kishou.go.jp）